

Mectron Piezosurgery® を用いた下顎埋伏智歯の抜歯

EX1
OT7
OP3

医療法人社団いそむら歯科医院（神奈川県横浜市） 磯村 治男

Piezosurgery®（Mectron社）は埋伏智歯の抜歯を安全かつ容易に行うことが可能な機器なので、先生方の日常臨床の助けになればと思います。

Piezosurgery®のハンズ・オンコースを担当して9年目になりますが、当初はインプラント埋入を主にお伝えしてきました。抜歯に使用するようになったのは3年ほど前からです。実習では豚の下顎骨を使用しています。豚の歯根は細長いので難抜歯ですが、EX1チップを使用することで型抜きをしているかのように抜歯が可能です。例えば根尖部が破折しても容易に対応できるので、抜歯の感触が掴めると多くの先生方から好評な実習です。

2013年より現在で約90人の患者様の埋伏智歯の抜歯を行ってきました。その中でCase1～3のような症例に遭遇したのでご紹介します。

Case1では、図1-1に示すように下顎管からの分枝が頬側に広がっているのが確認できます。図1-3では頬側の歯根形態は頬側皮質骨と平行であるためTraditional methodでは血管を損傷することが危惧されます。

抜歯手順はまず、OT7で骨切りを行い（図1-3.a）、歯冠部明示後EX1にてアンダー部に陥入している骨を削除します（図1-4）。歯冠部および歯根の分割はバーにより行います。EX1の形態は先端のみならず両サイ

ドにも刃があるので、両サイドの刃の角度を調整して、この部分を有効に使うのがポイントです。埋伏智歯と歯槽骨との間にEX1を根面に沿わせながら皮質骨を削除していきます。EX1が目的の深度に達したら前後に動かして空隙を形成します（図1-5）。最初からバーで骨削除を行うと境目が不明瞭になりあえて難症例になりがちです。

Case2は図2-2、2-3に示すように頬舌側ともに皮質骨が厚く歯軸が舌方向に回転しているため頬側の皮質骨の大幅な削除が必要な症例です。このケースもOT7にてストレスなく骨切りを行うことが可能です。Case1,2ともにチップの使用頻度はEX1が7に対してOT7が3の割合です。抜歯目的でPiezosurgery®ご購入検討の先生は、まずこの2本のチップを揃えれば十分です。余裕があればOP3も有効です。いずれも抜歯時間は20～30分です。

Case3は下顎完全埋伏智歯の症例です。このようなケースでもプロトコールは同様で施術時間は30分程度です。

以上、3症例をご紹介しましたが、下顎埋伏智歯抜歯で想定できる9割程度の状況は網羅されていると思います。

Piezosurgery®はチップのバリエーションが豊富なので、様々な使い方ができる機器です。ご興味ある先生は一度、Piezosurgery®をご体感ください。

Case1.

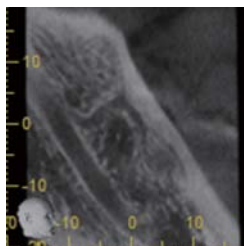


図 1-1.

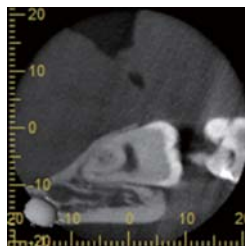


図 1-2.

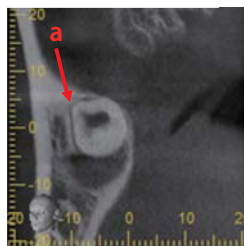


図 1-3. 除去前

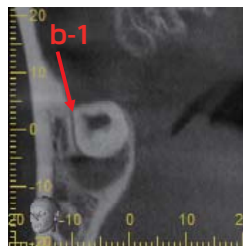


図 1-4. 除去後

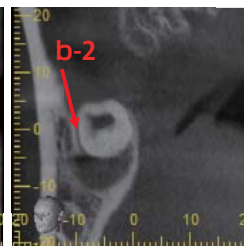


図 1-5.

Case2.



図 2-1.

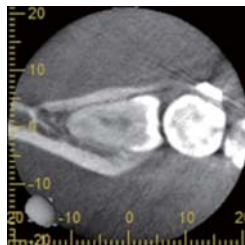


図 2-2.



図 2-3.

EX1 先端形状

OT7 先端形状



Case3.

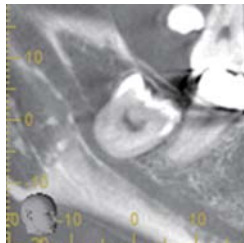


図 3-1.

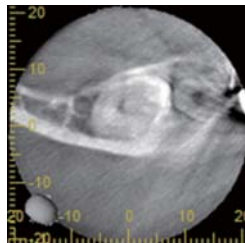


図 3-2.

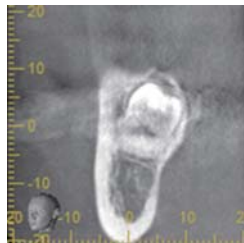


図 3-3.

OP3 先端形状



OP3もEX1同様に両サイドの刃を有効に使う。